

式 辞

うららかな春の装いに包まれた今日の佳き日、本日は、瀬戸内市教育委員会教育長 萩原康正 様を始め、御来賓の方々にお越しいただき、令和七年度入学式をこのように盛大に執り行えますことに、心から感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。本日より、皆さんは邑久中学校の生徒です。中学生になったら部活動を頑張ろうとか、勉強を頑張ろうなどいろいろな思いを持って今日を迎えたのではないのでしょうか。小学校では、苦手な教科があった人も、たくさん失敗した人も今日から新しい学校生活のスタートです。今までのことにとらわれず新たな気持ちで学校生活を始めてください。中学校は、自分を変えるチャンスです。

今日は、皆さんが、先輩たちに負けない素晴らしい邑久中学校の生徒となるために「桃太郎」の話から三つのことをお話しします。

一つめは、「素敵なお仲間を作ること」です。「桃太郎」のお話には、たくさんの出会いが描かれています。おばあさん、おじいさんとの出会い。犬、猿、キジとの出会いです。このどれかがかけても桃太郎の鬼退治の話はなかったかも知れませう。出会いは、偶然かも知れないうけれど、後になって考えるとその出会いが、今の自分に影響していることは多いと思います。みなさんも中学校に入学し、たくさんの出会いがあると思います。その一つ一つの出会いを大切にしたいと思ひます。その中で、自分と一緒にうれしいこともつらいことも共有できる本当のお仲間を作ってほしいと思ひます。

二つめは、「自分の魅力をみがくこと」です。「桃太郎」は、鬼退治の途中、犬、猿、キジと出会います。もしも桃太郎が、意地悪な人だったり、いい加減な人だったら、犬や猿やキジはお供を最後までしたでしょうか。髪型や、服装などのうわべの個性ではなく、人に優しい人であったり、ルールを守る正義感のある人であったりする内面の魅力、自分の強さを持っている人そんな人になってほしいと思ひます。

三つめは、「自分の特技を活かすこと」です。「桃太郎」に出てくる犬、猿、キジは、それぞれの特技を持っています。「犬」は、嗅覚や、スピード、忠誠心（恩を大切にす）生き物に例えられます。「猿」は、知恵、木に登ったりする機敏さを持つ生き物です。「キジ」は、空から、広い視野でものをとらえることができます。この三匹は、桃太郎の正

義感ときびだんごのお礼に答えるため、自分の特技を活かして一緒に戦います。中学校では、たくさんの仲間を作り、自分の弱いところは人に助けてもらう代わりに自分の得意なことで人の役に立ってあげましょう。

この三つのことを繰り返していけば、必ず、「地域や、保護者、友達」から応援される人になるはずです。地域の人や周りの人に叱られると元氣が出ませんが小さな事でもみんなに応援されるとさらに元氣になります。私たちは、たくさんの人たちに支えられて生きています。地域の様々な方々が、中学生の行動や様子に関心を持って来ています。だからこそ、出会いを大切にし、自分のやるべき事に責任を持ち、自分たちのできることをしっかり地域に返していける人になってほしいとおもいます。

「桃太郎」の話のように、出会いを大切にし、自分のやるべき事をしっかりやり、自分の得意なことを人にかえす。そんな、人を大切にできる、内面の魅力を磨ける、そんな前向きな学校生活にしてほしいと思います。

邑久中学校では、「邑」プランという名前で、「笑顔の挨拶」「校歌が響く学校」「夢を持ち努力する生徒」「自分を大切に他人を大切にできる生徒」「生徒主体の活動」に取り組めます。「邑」プランの「邑」の字は、人が集うという意味があります。もちろん「邑久中学校」の「邑」です。英語で「あなた」という意味で、邑プランと名付けています。みんなですっかり取り組んでいきましょう。

さて保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。中学生の時期は、心身ともに大きく成長し、自我が芽生え、親離れをし、子供から大人に向けてのステップアップをする時期です。そのなかで子供たちは、様々なことを自分たちの力で解決したり、挑戦する力をつけていくこととなります。こういった中学生生活を支えていくためには、保護者の皆様と地域、学校との連携が大切になってきます。どうか、学校に任せることは任せ、しっかりとお子様や学校を見守っていただけるとありがたいと思います。

これから三年間、学校職員一体となって頑張ってまいります。学校への御支援、御協力を、どうぞ宜しくお願いします。

令和七年四月九日

瀬戸内市立邑久中学校長 松田典久